

個人投資家とのおつきあいを経営の中心に据える独立系証券会社の山和証券が、日本橋兜町にある本社ビルの照明リニューアルを実施。器具レイアウトは変えずに消費電力の小さなLED照明器具に置き換え、さらにLinkLED Air（リンクレッドエアー）を導入。個別の明るさニーズにも柔軟に対応できる照明空間を実現しています。

1947年の創業以来、日本の金融経済の成長と変化の荒波を乗り越えてきた山和（やまわ）証券は、大資本の系列に属さない独立系の強みを生かし、地域に密着したお客さま本位の対面営業を展開。店舗は東京都内を中心に7店、さらにディーリング室を東京のほか、大阪とシンガポールに構えています。本社は2010年に現在地に移転。日本の株式市場の中心である東京証券取引所の正面玄関前に位置しています。



【 物件概要 】
所在地：東京都中央区日本橋兜町1-8
構造・規模：鉄筋コンクリート造、地上8階建
延床面積：1,491㎡
施主：山和証券(株)
施工：(株)千代田組
リニューアル完成：2025年5月



1階事務室の照明 無線調光対応の6,900lmタイプLEDベースライト埋込形①を5×5の計25台設置
室内を3つのエリアに分け、フロア一括制御用も含めて4台の壁操作器で、設定された19の調光パターンから最適な照明環境を選択

年間の電気料金を抑えるため照明LED化を実施し、無線照明制御システムLinkLED Airを導入。

築15年を迎えた山和証券本社ビルでは、年間の電気料金を削減する目的で照明器具のLED化が検討され、2027年より蛍光灯の製造が中止されること、蛍光灯の価格が上がっていること、今後入手しにくくなることなどに加え、ランプ切れの頻度が増加していたこともあり、全フロアでのLED化が実施されました。

今回の照明リニューアルでは、電気代などランニングコストの削減が大きなテーマでしたが、明るさに対する細やかな要望も多く、それらに対応するため、器具の更新だけではなく小規模向け無線照明制御シス

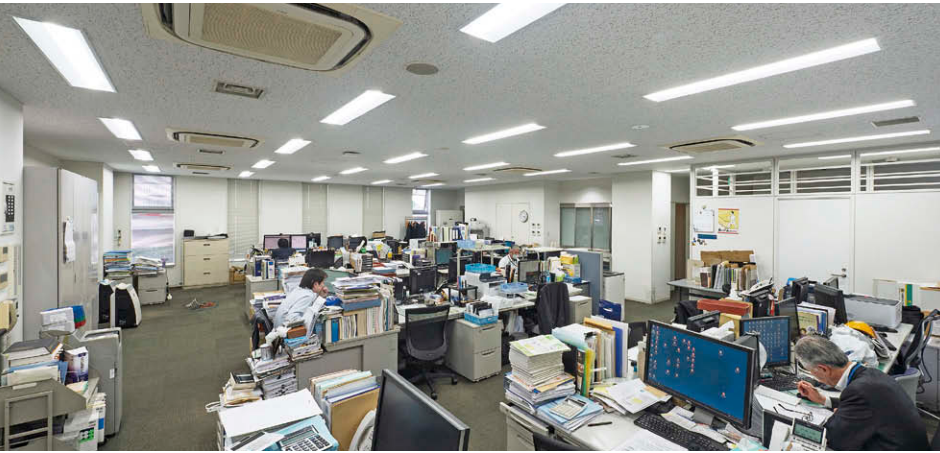
テムLinkLED Airを導入。各フロアの執務スペースを中心に無線制御に対応するLEDベースライトまたはLEDダウンライトを採用しました。

その結果、部門やフロア単位、さらには個人単位での明暗調整、人事異動や室内レイアウト変更時の制御変更、部分的な消灯など、課題をひとつひとつ解決し、また、照度を抑えた調光パターンや非使用エリアの消灯を含むパターンの設定などにより、節電も実現しています。従業員からは「フロア全体が明るくなり仕事がしやすくなった」「自分のデスク上の照明のみ照度調整ができ快適になった」といった声もいただいています。



個別設定ができる専用タブレット(左)とリモコンとしても使用できる壁操作器(右)

主な掲載器具一覧		器具名 (品番名)	形名	台数	備考
屋内	①	LED ベースライト TENQOO シリーズ 40 タイプ 埋込形 下面開放 W220 一般タイプ 6,900lm タイプ LinkLED Air	LEER-42202-BD9+LEEM-40404N-01	162	消費電力: 43.0W
	②	LED ユニット交換形ダウンライト グレアレスタイプ φ 150 広角 高効率タイプ 1500 シリーズ LinkLED Air	LEDD-183005MV-BD9+LEEU-1503N-03	7	消費電力: 11.3W
	③	LED ユニット交換形ダウンライト グレアレスタイプ φ 150 広角 高効率タイプ 2000 シリーズ LinkLED Air	LEDD-183005MV-BD9+LEEU-2003L-03	23	消費電力: 14.2W
屋外	④	LED 投光器 フラッドライト BVP158 シリーズ 1,200lm クラス	BVP158_12S	12	定格消費電力: 10W



3階事務室の照明 LEDベースライト①を計29台設置 フロア一括点灯時を50%調光に設定し節電



4階大会議室の照明 会議スペース(左上)にはLEDベースライト①を10台、給湯コーナー(右上)にはLEDダウンライト②を3台、ともに無線調光対応の器具を採用
調光パターンは100%、70%、50%、40%、30%、入口減光(下左から)に加え、奥側減光、消灯の8パターンを設定



5階社長室の照明 電球色のLEDダウンライト③を18台採用

外構照明 LED小形投光器④によりビル外壁を夜間ライトアップ